

# 一般質問

## 町政を問う

今回2人が質問し、  
その要約を掲載しました。

南 條 治 議員・・・・・・・・・・ 7 P

- ・町長選を迎えるにあたって

三 村 由利子 議員・・・・・・・・・・ 8 P

- ・高齢者対策について
- ・災害対策について





なんじょう おさむ  
南條 治 議員

## 町長選を迎えるにあたって (3年9ヶ月を振り返って)

〈町長〉 皆さんがどのように感じたかは、どうぞ聞かせていただけたら大変ありがたいと思っております

**南條** マニフェストの実現について。  
①中学生までの医療費無料化は。  
②子育て支援の強化と妊産婦検診補助は。  
**町長** 平成21年10月から特例児童医療費助成制度を創設し無料化。平成21年2月から妊婦健診公費助成を14回まで拡大した。

**南條** ①中学校・高校への留学生受け入れは。  
②地域の特色ある学校づくりは。  
③地元産業の活性化に結びついたのか。  
**町長** すべてがうまくいった訳ではない。問題が生じてきたことも事実である。

**南條** 国道123号バイパスと旧茨鉄軌道敷道路は。  
**町長** 国道123号バイパスは平成26

年までに一部供用開始。軌道敷道路は平成25年3月開通予定。  
**南條** 高齢者の健康いきがい支援は。  
**町長** ふれあいサロンを設置（現在42ヶ所）県の調査で一定の成果。90名のボランティア活動でやっている。



旧茨鉄軌道敷（境橋）



123号バイパス（坏地区）

**南條** 積極的な企業誘致・財政強化は。  
**町長** 企業誘致は難しかった。今、太陽光発電を支援のないう限り受け入れ。窓口は作っていないが、企画財政課が対応する。  
**南條** 合併の効果は。  
**町長** 行政運営の効率化が図られ基盤強化。広域的な観点からの町づくりができるようになった。住民サービスの維持・充実をした。

**南條** 新規事業の取り組みは。  
**町長** 常北中学校の建て替え。ブックスタート事業を行った。

**南條** 東日本大震災のその後は。  
**町長** 役場庁舎の建設を除き、概ね復旧が完了した。

**南條** 防災について対応はどこまで進んだのか。  
**町長** 防災備蓄倉庫を役場敷地内に設置。飲料水と非常用食品約3000食。アルファ米2000食を追加予定。出動態勢の充実に考慮。町の行政機関に整合した実現的な計画として有事に備えている。

**南條** 新庁舎建設の進捗状況は。  
**町長** 実施設計に着手している。

**南條** 再選後の町づくりの考え・意気込みは。  
**町長** 庁舎建設・防災拠点としての機能が一番大事。坏小学校の多目的ホールとしての利用。桂公民館を改造し支所機能を持たせたい。子育て支援。高齢者の

**南條** 震災復興特別交付税は。  
**町長** 震災復興特別交付税により設置されると考えている。残りは起債（合併特例債等）を予定している。

**南條** 新庁舎建設の財源確保は。  
**町長** 震災復興特別交付税により設置されると考えている。残りは起債（合併特例債等）を予定している。

**町長** 6億6千2百59万6千円。24年度第1回は2千7百26万3千円。



現在の坏小学校

# 高齢者対策について

〈町長〉 高齢者の皆さんが本当に元気で生き生きと生活していける社会を作っていかなければならないと思っている。



みおら ゆりこ 議員  
三村 由利子



**三村** 本町の高齢化率の進捗状況と、他市町村と比較してどうか。

**町長** 高齢化率は大変高くなってきており、28・5%で大子町・利根町・常陸太田市・河内町・常陸大宮市について県内では6番目になっている。

**三村** 独居高齢者の実態について伺う。

**町長** ひとり暮らしの方は、537人になっている。

**三村** 高齢者福祉サービスは充実していると考えているか。

**町長** 緊急通報装置・配食サービス・地域ケア事業・介護慰労金事業・地域包括支援センター・ふれあいサロン・茨城パルシステムとの協定等の事業で一定の成果があつたと考えている。

**三村** 公民館や集会所で実施している健康教室・ふれあいサロン等に出向けず、家庭の中だけの生活をしている人に目を向けるべきではないか。

**町長** 民生委員さんと相談し施策の中で生かしていきたい。

**三村** 高齢者が行政のサービスを受け、尊厳のある生き方が、為に予算編成で力を入れていただきたいが。

**企画財政課長** 事業のスクラップ・アンド・ビルド方式で考えている。

## 災害対策について

〈町長〉 災害の復旧・復興に全力を傾注したことから、職員の派遣研修はできない状況。

**三村** 被災当時の混乱、初動体制の見直しと反省を踏まえ、現地への職員の派遣研修を指摘・提言してきたが、職員の研修は実施されたのか。

**町長** 特にしていない。そういうふうな思っている職員もいないため。新年度予算でも職員の派遣は難しい。尚、大震災の対応の反省をふまえ、地域防災計画を改正した。



宮城県の被災状況